デンタルスタッフ·ミライ·プロジェクト ニュース Vol.96

厚生労働省調査に見る 歯科保健医療の推移と成果②

8月号に続き「令和4年歯科疾患実態調査」よ り、過去24年間の歯科医療の推移と成果をご紹 介します。

①若年層ではう歯を持つ者の割合は減少傾向

う歯を持つ者の割合は若年層では減少傾向にあ りますが、55歳以降で増加傾向が見られます。 24年前との比較では5~9歳で21.8ポイント、 10~14歳では38ポイント、15~19歳で44ポイ ント減少(改善)しているのに対し、65~74歳 では12.9ポイント、75~84歳では23.2ポイン ト、85歳以上では42ポイント増加しています。 10~14歳の階級のみ6年前と比べ19.7→31.7 ポイントと大幅に増加しています。

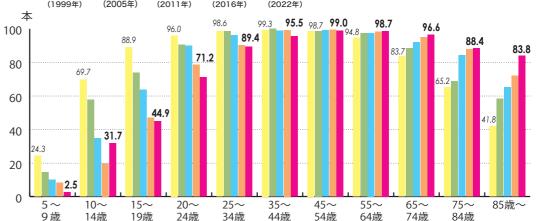
②4 小以上の歯周ポケットを持つ者の割合は 高齢になる程増加

4 り以上の歯周ポケットのある者の割合は、6 年前と比較して15~19歳と70歳以上の年齢階級 で増加しています。ほぼ全ての年齢階級で24年 前より4~以上の歯周ポケットを持つ者の割合 が増加しています。

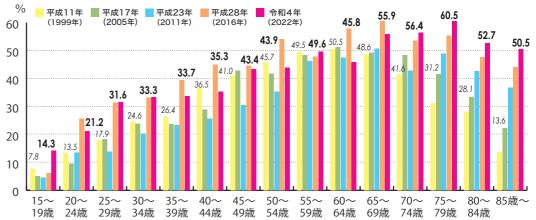


平成11年 平成17年 平成23年 平成28年 **令**和4年 (1999年) (2005年) (2011年) (2016年) (2022年) 95.5 _{98.7} 99.0

グラフ4 う歯を持つ者の割合の推移(永久歯:5歳以上)



4ミリ以上の歯周ポケットのある者の割合の推移 グラフ5



DH Pro.セミナー講師



皆さんの医院ではメインテナンスの時に患者さんが 実際に使われている歯ブラシをご持参いただいていま すでしょうか。今回は歯ブラシ持参の目的を考えてみ たいと思います。

- ◆どういう歯ブラシを選ばれているのか、患者さんの 選択基準を見極めるため
- ◆歯ブラシを購入しているのはご本人なのか、保護者 や配偶者なのか知るため
- ◆口腔内のリスクや歯肉のフェノタイプ(厚い/薄い) に合った歯ブラシを使用されているか確認をするた
- ◆定期的に交換されているか確認をするため
- ◆使用状況、管理状況の確認をするため(劣化や毛先 の拡がり具合など)

歯ブラシ持参の目的とは?

持参された歯ブラシで色々な事がわかります。また、 持参された毛が開いた歯ブラシで患者さんの口腔内を 磨くと、いかにプラーク除去力が落ちるかを理解して いただけます。

OHIの時には歯ブラシの処方ももちろんですが、使 用されている歯ブラシの確認も大切です。

使用されている歯ブラシの確認をする

